

機械工学特論 (Exercises in Mechanical Engineering)		5年・通年・1学修単位 (β)・選択 機械工学科・担当 (前期) 機械工学科全教員 (後期) 児玉謙司	
[準学士課程(本科 1-5 年) 学習教育目標]	[システム創成工学教育プログラム 学習・教育目標]	[JABEE 基準]	
(4)	D-2 (70%), B-2 (30%)	(d-2d), (d-1)	
[講義の目的] 本講義は、将来企業などにおいて、高専で身につけた基礎学力、素養を基に十分活躍できるようにと企画されたものである。前期は、基礎学力の向上を目指し、数学、物理および機械工学分野などの問題演習を行う。後期は、知的財産権の知識を身につけること、公設試験研究機関の役割について理解すること、技術者倫理の知識を身につけること、過去の事故などを研究することによって、設計実務に必要な素養を修得することを目的とする。			
[講義の概要] 講義内容は、数学、物理および機械工学分野などの問題演習、電子特許図書館による演習、技術者倫理、公設試験研究機関の見学、過去の事故などの研究からなる。各テーマに演習もしくはレポートを課す。			
[履修上の留意点] 知的財産権や技術者倫理を学ぶことは、エンジニアとしての必須の重要事項であり、企業人としてのやりがいにも関係する。将来、機械エンジニアとして活躍するために、強い意欲を持って本講義に取り組んでもらいたい。			
[到達目標] <ul style="list-style-type: none"> ・ 数学、物理および機械工学分野などの問題演習を解くことで基礎学力を向上させる。 ・ 公設試験研究機関の役割について理解する。 ・ 技術者倫理の基本的な考え方について理解する。 ・ 過去の事故などを研究することの重要性を理解する。 ・ 知的財産権の種類、特許・実用新案の出願方法とその検索方法について理解する。 ・ 技術と法律が密接な関連があることを理解する。 ・ 生産現場で重要な安全について理解する。 			
[評価方法] 課題レポート (70%)、総合演習 (30%) を総合して評価する。			
[教科書] プリントを適宜配布する。			
[補助教材・参考書] なし			
[関連科目] 機械工学科カリキュラムのすべてに関連する。			

講義項目・内容

週数	講義項目	講義内容	自己評価*
第1週	ガイダンス	基礎学力演習の方法などについてのガイダンス	
第2週	基礎学力演習1	数学, 物理 (力学・電磁気学), 材料力学, 流体力学, 熱力学などの演習問題を解く.	
第3週	基礎学力演習2		
第4週	基礎学力演習3		
第5週	基礎学力演習4		
第6週	基礎学力演習5		
第7週	基礎学力演習6		
第8週	基礎学力演習7		
第9週	基礎学力演習8		
第10週	公設試験研究機関の見学		奈良県工業技術センターを見学し, 地域の中小企業を技術面から支援し, 地域産業振興に貢献していることを学ぶ.
第11週			
第12週			
第13週			
第14週	技術者の資格	学位 (準学士など), 国際技術者資格 (技術士など), JABEE 教育についての説明	
第15週	技術者倫理1	技術者倫理に関する講義	
第16週	技術者倫理2	技術者倫理に関する講義	
第17週	技術者倫理3	技術者倫理に関する講義	
第18週	技術者倫理4	技術者倫理に関する講義	
第19週	過去の事故の研究1	過去の事故の事例に関する講義	
第20週	過去の事故の研究2	過去の事故の事例に関する講義	
第21週	過去の事故の研究3	過去の事故の事例に関する講義	
第22週	過去の事故の研究4	過去の事故の事例に関する講義	
第23週	知的財産1	知的財産権の種類, 特許・実用新案の出願方法・検索方法, 電子特許図書館の利用方法の説明	
第24週	知的財産2	電子特許図書館を実際に使って, 調査・報告を行う.	
第25週	知的財産3		
第26週	知的財産4		
第27週	技術に関連する法律1	技術に関連する法律に関する講義	
第28週	技術に関連する法律2	技術に関連する法律に関する講義	
第29週	生産活動の研究1	製造業における生産活動に関する講義及び演習	
第30週	生産活動の研究2	製造業における生産活動に関する講義及び演習	

*4 : 完全に理解した, 3 : ほぼ理解した, 2 : やや理解できた, 1 : ほとんど理解できなかった, 0 : まったく理解できなかった.
(達成) (達成) (達成) (達成) (達成)